タイトル

執筆者

2019-09-07

Contents

1	文章	1
	1.1 日本語を表示させるための設定	1
2	数式	2
3	図を挿入する	2
	3.1 markdown記法を用いた画像の挿入	2
	3.2 グラフの挿入	3
参え	考文献	4
##	Loading required package: tidyverse	
##	Attaching packages tidyverse 1.2.1	
##	v ggplot2 3.2.0 v purrr 0.3.2	
##	v tibble 2.1.3 v dplyr 0.8.2	
##	v tidyr 0.8.3 v stringr 1.4.0	
##	v readr 1.3.1 v forcats 0.4.0	
##	Conflicts tidyverse_conflicts()	
##	<pre>x dplyr::filter() masks stats::filter()</pre>	
##	<pre>x dplyr::lag() masks stats::lag()</pre>	

1 文章

文章などは通常のmarkdownのように書けば良い¹.

通常, 太字, 斜体, 取り消し線

1.1 日本語を表示させるための設定

通常の状態では日本語がうまく改行されないので、ヘッダーやスタイルファイルで設定する必要がある。ヘッダーにlatexの設定を直接記述するとヘッダーの行数が多くなり煩雑なため、別途スタイルファイルを用意して、Rmdファイルと同じディレクトリに配置している。

% 日本語を含む段落を行分割するための設定

\XeTeXlinebreaklocale "ja"

\XeTeXlinebreakskip=0pt plus 1pt

\XeTeXlinebreakpenalty=0

% 半角分戻る

\def\zx@hwback#1{\leavevmode#1\hskip-.5em\relax}

¹脚注

% 日本語字下げ設定 & 行間設定

```
\RequirePackage{indentfirst}
\RequirePackage{setspace}
\setlength{\parskip}{1.2pt}
\setstretch{1.2}
\parindent=1em
```

2 数式

数式は、*で囲んで行う。 インライン数式は*、 $e^{i\theta}=\cos\theta+i\sin\theta$. ディスプレイ数式は、**. 式番号の表示や相互参照をさせたい場合、pandoc-crossrefなどの別の拡張機能が必要。

$$e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$$

3 図を挿入する

3.1 markdown記法を用いた画像の挿入

通常,pandocの仕様上,markdown記法で行う画像の挿入は常にページ上部に表示されてしまう. デメリットとして,段落と画像の順番が分かりづらい並びになってしまうことがある. これをコード記述位置 (latexで言う"[H]"オプション) に常に画像を表示させるように,Rmdファイル冒頭で指定したスタイルファイル(ここでは,style.sty)に以下を記述する.

```
% 画像挿入を常にh (コード記述位置) にする設定
```

```
\usepackage{float}
\let\origfigure\figure
\let\endorigfigure\endfigure
\renewenvironment{figure}[1][2] {
    \expandafter\origfigure\expandafter[H]
} {
    \endorigfigure
}
```



Figure 1: アヤメ

3.2 グラフの挿入

ggplotなど、Rのコードチャンク内で図を挿入する場合は、キャプション、図の幅、高さなどはチャンクのオプションで指定する。相互参照用のラベルは fig.cap="キャプション \\label{fig:fig01}" のように、fig.cap の宣言の中で記述する。

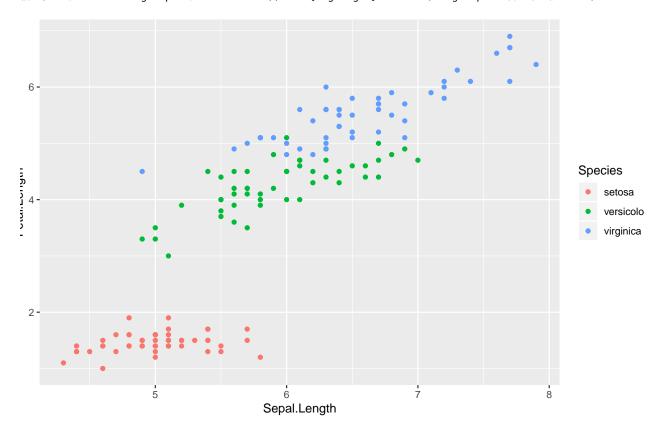


Figure 2: 散布図

参考文献

- r Figure position in markdown when converting to PDF with knitr and pandoc Stack Overflow, https://stackoverflow.com/questions/16626462/figure-position-in-markdown-when-converting-to-pdf-with-knitr-and-pandoc?rq=1, 2019年9月7日 閲覧
- [R] R MarkdownをPDFにして論文を書くときのテンプレート 盆暗の学習記録, https://nigimitama.hatenablog.jp/entry/2019/01/13/021447, 2019年9月7日閲覧
- XeLaTeX で日本語する件について [電脳世界の奥底にて], http://zrbabbler.sp.land.to/xelatex.html, 2019年9月7日閲覧